

『現代の国語』第一章「問うこと、語ること」「実践1 『質問する力』を育てよう」(p24)の言語活動用「ルーブリック評価」の例

「言語活動」のルーブリック例は、指導書に掲載いたします。ここでは、一例として「実践1 『質問する力』を育てよう」のルーブリック評価をご紹介します。

実践…「質問する力」を育てよう

自己評価用

本質的な問い	普段の生活の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討するには、どうすればよいのか。
--------	--

永続的理解

問いは思考のための強力なツールであることを理解し、主体的な学び手としても、未来の社会の担い手としても、すでにある誰かの問いに答えるだけでなく、自ら問いを立て、思考を深めることができる。「問い」を立てる実践を繰り返すことで、問う力を身につけることができる。

2. 活動の目標

思考力・判断力・表現力等	A話すこと・聞くこと	ア)目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。
--------------	------------	---

パフォーマンス課題

- ①一分間の簡単なスピーチを考え、グループ内で発表する。
- ②話し手に対して聞き手が質問する。話し手は質問に答える。
- ③全員の質問が終わったら、隣の人が話し手となる。
- ④全員がスピーチを終えたら、活動全体を振り返る。

3. ルーブリック表

つけたい力のレベル	一分間スピーチ	問いを立てる力	適切に問いかける力	問いを通して、考えを深める力
レベル3	一分間のスピーチの内容を考え、その内容を他者に十分理解できるよう発表することができた。	スピーチの内容に対して、様々な疑問点やもっと知りたい点を指摘することができた。	疑問点や、もっと知りたい点を、スピーカーに適切な質問で投げかけることができた。	自分や他の人の質問を通して、考えを十分に深めることができた。
レベル2	一分間のスピーチの内容を考え、その内容を発表することができた。	スピーチの内容に対して、疑問点やもっと知りたいという点を一つは見出すことができた。	疑問点や、もっと知りたい点についてスピーカーに質問できた。	質問を通して考えを深めることができた。
レベル1	一分間のスピーチを発表することができなかった。	スピーチの内容に対して、積極的に関わることはできなかった。	疑問点や、もっと知りたい点について、スピーカーに質問ができなかった。	自分の質問についても、他の人の質問についても、考えが深まらなかった。